

- 8 エベデ・メレクは王宮から出て行き、王に告げた。
- 9 「わが主君、王よ。あの人たちが預言者エレミヤにしたことは、みな悪いことばかりです。らはあの人を穴に投げ込みました。もう都にパンはありませんので、あの方はそこで飢え死にしましょう。」
- 10 すると王は、クシュ人エベデ・メレクに命じた。「あなたはここから三十人を連れて行き、預言者エレミヤを、まだ死なないうちに、その穴から引き上げなさい。」
- 11 エベデ・メレクは人々を率いて、王宮の宝物倉の下に行き、そこから着古した衣服やぼろ切れを取り、それらを綱で穴の中のエレミヤのところ而降ろした。
- 12 クシュ人エベデ・メレクはエレミヤに、「さあ、古着やぼろ切れをあなたの脇の下の綱に当てなさい」と言ったので、エレミヤがそのとおりにすると、
- 13 彼らはエレミヤを綱で穴から引き上げた。こうして、エレミヤは監視の庭にとどまった。

【 申命記 】

23 : 1 辜丸のつぶれた者、陰茎を切り取られた者は、【主】の集会に加わってはならない。

【 箴言 】

2 : 11 思慮はあなたを守り、英知はあなたを保つ。

2 : 12 それらはあなたを悪の道から、ねじれごとを語る者たちから救い出す。

【 マタイの福音書 】

16 : 3 朝には『朝焼けでどんよりしているから、今日は荒れ模様だ』と言います。空模様を見分けることを知っていながら、時のしるしを見分けることはできないのですか。

【 テサロニケ人への手紙第一 】

2 : 4 むしろ私たちは、神に認められて福音を委ねられた者ですから、それにふさわしく、人を喜ばせるのではなく、私たちの心をお調べになる神を喜んでいただくこうとして、語っているのです。

\* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2022年 1月 9日 (日)

礼拝メッセージノート

「 地の底のエレミヤ～宦官の決断に倣う 」

|エレミヤ書講解-74 エレミヤ書38 : 1～13 他 小野寺 望 牧師

【 エレミヤ書 38章 】

- さて、マタンの子シェファテヤと、パシュフルの子ゲダルヤと、シエラムヤの子ユカルと、マルキヤの子パシュフルは、エレミヤが民全体に次のように語ることを聞いた。
- 「【主】はこう言われる。『この都にとどまる者は、剣と飢饉と疫病で死ぬが、カルデア人のところに出て行く者は生きる。そのいのちは戦勝品として彼のものになり、彼は生きる。』
- 【主】はこう言われる。『この都は、必ず、バビロンの王の軍勢の手に渡される。彼はこれを攻め取る。』」
- そこで、首長たちは王に言った。「どうか、あの男を死刑にしてください。彼はこのように、こんなことを皆に語り、この都に残っている戦士や民全体の士気をくじいているからです。実にあの男は、この民のために、平安ではなくわざわいを求めているのです。」
- するとゼデキヤ王は言った。「見よ、彼はあなたがたの手の手の中にある。王は、あなたがたに逆らっては何もできない。」
- そこで彼らはエレミヤを捕らえ、監視の庭にある王子マルキヤの穴に投げ込んだ。彼らはエレミヤを綱で降ろしたが、穴の中には水がなく、あるのは泥だったので、エレミヤは泥の中に沈んだ。
- 王宮にいたクシュ人の宦官エベデ・メレクは、エレミヤが穴に入れられたことを聞いた。また、そのとき王はベニヤミンの門のところ座っていたので、

(4ページへ続く)

## ◆はじめに ～神がおられることを表す使者 エレミヤと宦官

(1) エレミヤ書における7つのアウトラインの確認 (30～31章が一番前に来る)

\*この箇所は7つの内の ④12部族の将来 (30～39章)

- a. レカブ人の忠実さに見習う (35章)
- b. 記された巻物と王たちの反応 (36章)
- c. イスラエルの回復と希望 (30～31, 32～33章)
- d. ゼカリヤ王への預言 (34章)
- e. ゼデキヤの祈りの要請と逮捕 (37章)
- f. 獄中からの解放と召し (38章)
- g. エルサレム陥落と忠実な者の運命 (39章)

## ◆メッセージのアウトライン紹介とゴール

### | 神に用いられた宦官の決心から学ぶ

\*このメッセージは 神を第一とする宦官の姿勢から学ぶものである。

＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝＝

## I 逮捕について 二つの出来事 (1節)

### 1. 37章との比較

(1) 逮捕を企てた者たち

”ゼデキヤ王はセレミヤの子ユカルと、マアセヤの子祭司ゼバニヤを預言者エレミヤにつかわして、「われわれのために、われわれの神、主に祈ってください」と言わせた。“(37:3)

”さて、マタンの子シェファテヤと、バシュフルの子ゲダルヤと、シェレムヤの子ユカルと、マルキヤの子バシュフル“(38:1)

①新改訳2017以前の訳：38章「ユカル」は37章「エフカル」と同じ人物 (37：3の欄外参照)

(2) 37章と38章は、互いに類似する点と相違点がある。

- ①逮捕される類似点と、穴 (牢) の場所、釈放までのいきさつという相違点
  - ②もしも別の出来事だとすると、これは3回目の逮捕の記事 (32、37、38章)
- \*互いは異なる出来事なのか、もしくは37章を補完するために、違う角度から再記述したものなのか、仲介者の見解が分かれる。



## II 逮捕のいきさつ (2～6節)

### 1. 逮捕のいきさつ

(1) エレミヤは主からの預言を語っていた。

- ①内容は、エルサレムにとどまって敵と戦おうとする者は、「剣と飢饉と疫病」で死ぬ。14：12、15：2、21：7・9、27：8
- ②しかし、カルデア人の所 (バビロン) に出て行くなら、いのちは助かり、新しい生活が待っている。ユダ、エルサレムのくびき (29：15～)

(2) 神のことばへの反発

①エレミヤの預言を聞いて、腹を立てた4人の首長 1節参照

②彼らはゼデキヤ王の所に行って不満を申し立てた。

### 2. 反抗する者の言い分

- (1) エレミヤは戦士や民全体の士気をくじいている。
- (2) 民のために平安を求めず、かえって災いを求めている。

①世的には妥当に見える意見が、実はみこころに反している例

### 3. 投獄

- (1) ゼデキヤは首長たちの言うがままになり、エレミヤの逮捕を許可する。
- (2) エレミヤは逮捕され、監視の庭にあった穴 (貯水槽) に投げ込まれる。
- (3) 飢えと寒さでエレミヤが死ぬことを期待したが、その時は水がなくて泥のみ (濁水期) であった。綱で降ろされエレミヤの体は中に沈んだ。

## III 予期せぬ助け (7～13節)

### 1. エベデ・メレクによる訴え

(1) エチオピア (クシュ) 人のエベデ・メレク。

①彼は王宮にいたが、奴隷であり、かつ宦官 (かんがん)。

②ベニヤミンの門のところにいる王に、エレミヤの球状を訴えた。

\*北側にあるベンヤミンの道に出る門。37章でエレミヤが逮捕された場所。

38章で王がいるのは、問題をさばくためか、敵の様子を見るためか。

(2) 宦官は、モーセの律法によれば、主の集会から除外された者たち (申23：1)。

\*偶像礼拝によって、「神のかたち」を欠く者でも、信仰により神に近づくならば、神は喜んで受け入れる。

(3) ゼデキヤ王は訴えを聞いて、30人を救助の助けとして派遣した。

①この人数は首長たちの攻撃から身を守るために必要だった。

②オベデ・エドムは古着を集め、それをエレミヤの脇に挟み、上に引き上げた。

\*衰弱しきったエレミヤの体を傷付けて、痛みを与えないようにという配慮。

\*ゼデキヤの風見鶏のような姿勢は一貫性のなさを表す。

### 2. 神の守りの成就

(1) 神の約束：エレミヤは敵によって殺されることが決していない (1：19)

\*エレミヤの暗殺計画からの守り (11章、18章)

## ◆まとめ：神に用いられた宦官の決心から学ぶ

(1) 神を軽んじる首長たちと、神に最大の敬意を示す宦官の対照的な姿勢。

\*神は信仰で歩み寄る者に、置かれた境遇を覆すような祝福を与える。

(2) 神の時、神の計画を知り、それに従う

①情報過多の中、大切なものを見極め、何が御心かを見極めよ マタ16：3

②人の内を見極める神のために、真実を語れ 1テサ2：4

③神にある思慮や英知は、あなたを悪の道から、ねじれごとを語る者たちから救い出すだろう。進言2：11～12